

政策 05 にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり

施策 02 農業の振興



あるべき姿

農業としての作付面積や生産規模を維持し、安定経営・付加価値化で農業所得が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	遊休農地面積 (ha)		【農業委員会事務局】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	8.5		(低下)	
指標の動き	R04実績	11.7		対前年度	分析 評価 農地中間管理事業を活用し担い手農家への利用集積を推進しているほか、農地パトロールにより遊休農地を調査し農地所有者へ指導しています。農地中間管理事業を活用する地域を増やすなど担い手農家への集積を推進すると共に、農地パトロールを継続して行い、遊休農地面積の減少に努めます。
	R05実績			(低下)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	7.8			

指標	農産物収穫量 (米、麦、大豆) (t)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	11,236		(低下)	
指標の動き	R04実績	10,638		対前年度	分析 評価 主食用米の需要が減少し、より需要のある小麦・大豆への転換を推進しているため、水稻の作付面積・収穫量は減少しているものの、小麦・大豆は作付面積・収穫量は増加しています。水稻・小麦・大豆の合計作付面積の減少原因としては、農業者の高齢化等による離農や他の作物への作付転換が考えられます。
	R05実績			(低下)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	12,100			

指標	花き出荷額 (千円)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	1,608,654		(向上)	
指標の動き	R04実績	1,679,453		対前年度	分析 評価 市場の単価が下がったほか、流通ルートの多様化により、出荷形態が変化したことが挙げられます。今後は研修会等の機会を通して高付加価値の花苗等の栽培を推進するなど、出荷額の向上に繋がるよう支援していきます。
	R05実績			(向上)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(高)	
	R08実績				
	R08目標値	1,895,000			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	認定農業者数（人）		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	173 (人)		対前年度	分析 評価 農業従事者の高齢化や後継者不足による離農が進んでいますが、規模拡大を目指す農家を農地中間管理事業等より支援することで、新たな認定業者が増加したと考えられます。
	R04実績	181		☀️ (向上)	
	R05実績			☀️ (向上)	
	R06実績			☀️ (向上)	
	R07実績			☀️ (向上)	
	R08実績			☀️ (向上)	
	R08目標値	190		☀️ (向上)	

基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	農業生産法人数（農地所有適格法人数）（法人）		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☔️ (低下)	
指標の動き	後期基準値	21 (法人)		対前年度	分析 評価 事業撤退により、法人が解散したことが挙げられます。今後は、安定経営のための手法の一つとして、家族経営から法人化に向けたPRを行うほか、農地中間管理事業の推進などを通じた担い手への農地集積を図り、農業生産法人数の増加に努めます。
	R04実績	14		☔️ (低下)	
	R05実績			☔️ (低下)	
	R06実績			☔️ (低下)	
	R07実績			☔️ (低下)	
	R08実績			☔️ (低下)	
	R08目標値	26		☔️ (低下)	

基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	農業法人税割額（千円）		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☔️ (低下)	
指標の動き	後期基準値	1,412 (千円)		対前年度	分析 評価 農業法人全体の業績が良くなかったことが挙げられます。安定経営のための手法の一つとして、家族経営から法人化に向けたPRを行うほか、農地中間管理事業の推進などを通じた担い手への農地集積を支援し、農業法人数の増加に努め、農業法人税の向上を図ります。
	R04実績	905		☔️ (低下)	
	R05実績			☔️ (低下)	
	R06実績			☔️ (低下)	
	R07実績			☔️ (低下)	
	R08実績			☔️ (低下)	
	R08目標値	1,600		☔️ (低下)	

基本事業02 生産基盤の整備

指標	かんがい排水路整備率（％）		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	79.4 (％)		対前年度	分析 評価 施設の老朽化に伴う補修工事の要望が大半を占めており、未整備の水路改修が進まず、整備率上昇につながっていないことが挙げられます。今後も引き続き、生産基盤の整備と維持管理に努めていきます。
	R04実績	79.5		☁️ (横ばい)	
	R05実績			☁️ (横ばい)	
	R06実績			☁️ (横ばい)	
	R07実績			☁️ (横ばい)	
	R08実績			☁️ (横ばい)	
	R08目標値	80.0		☁️ (横ばい)	

基本事業02 生産基盤の整備

指標	新たに圃場整備された面積 (基本計画期間累計)(ha)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	52.3		対前年度	分析 評価 令和4年度も鴻巣・行田圃場整備事業が順調に施工されたことが挙げられます。今後も計画どおりに事業が推進できるように支援を行います。
	R04実績	63.2		☀️ (向上)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			☐ (高)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	89.2			

基本事業03 地産地消の推進と競争力の強化

指標	学校給食における米の消費量(t)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	73.2		対前年度	分析 評価 給食での地元農産物の利用が定着してきたものと考えられます。地元愛着の醸成や、生産者の安定的収入確保の面からも地産地消の促進は重要であり、今後とも生産者・販売者との連携を密にし、一定量の提供に努めます。
	R04実績	81.5		☀️ (向上)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			☐ (達成)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	80.0			

基本事業03 地産地消の推進と競争力の強化

指標	鴻巣市産の農産物や花を、市内店舗や直売所で購入している市民の割合(%)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	78.0		対前年度	分析 評価 食の安心・安全に対する消費者の意識は高く、地元で生産された農産物が好まれている傾向がありますが、市内産農産物を購入できる直売所や販売スペースが少ないことが挙げられます。
	R04実績	78.9		☀️ (向上)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			☐ (高)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	85.0			